



愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校 地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

# さきばるだより

創立115年 奄美市立崎原小中学校 学校だより 令和5年10月号

令和5年10月30日発行

## ウェルビーイング

崎原小中学校 校長 鐘 謙治

子どもたちを見て、最近感じることは、学校にいらっしゃるゲストに物怖じせず話せるようになったと感じることです。この1年半で数々の体験活動、多くのゲストを崎原小中学校にお招きしました。正直言って、当初は、反応の薄さや人と関わらないようにする態度が目立ちました。しかしながら、10月1日に行われた岡田大介さんの講演会、10月13日に行われたカメラ講座。そして、10月27日に行われた武蔵野美術大学による鑑賞の授業。どれも、子どもたちの積極的な質問、かわりがよくみられました。

これからは、多くの人たちとかわり合っていく時代です。何より重要なのはコミュニケーション能力といっても過言ではないでしょう。しかしながら、現代の子どもたちは2次元での会話はするものの、3次元での会話は減る一方です。2次元での会話はいわゆるネットを介した会話です。昔前はLINEが主流でしたが、今では、ゲームの中での会話が主流です。楽しく一緒にゲームをしている間はいいのですが、一度トラブルになるとなかなか解決できません。顔が見えなければ、何でもいっていいという雰囲気になります。しかし、2次元では、相手の顔も分かりませんし、反応も簡単に分かりません。本当に思っていることは何なのか分からないまま会話が進みます。結局、本当の仲直りにはなかなかつながりにくいのです。しかし、3次元では、相手の真意は容易に伝わってくる場合がほとんどです。表情はもちろん、言葉の強弱、間、態度などが会話と一緒にコミュニケーションとして伝わってくるのです。

本校の子どもたちは、ほとんどの子たちが何らかの辛い思いをして、本校を選んでくれたように思います。ですから、コミュニケーションがやや苦手な子も多いです。しかしながら、善意の塊のような人たちと触れあうことで、「自分の思いを伝えたい」「もっとこの人のことを知りたい」と思うようになったのかもしれない。

さらに、崎原小中学校のよさとして、地域の方々や保護者と触れあう機会がたくさんあります。教師だけでなく、様々な人たちの生き方を学んでいるのだと思います。コロナ禍でこういった「ふれあい」がなくなってしまったこともコミュニケーション能力の衰退に至った原因だと思っています。しかし、いち早く様々な会合やイベントを再開した崎原だからこそのこのようないい結果が出ているのかもしれない。

「ウェルビーイングな地域や社会を目指す」という言葉を最近よく聞きますが、この崎原こそ「ウェルビーイングな地域」だと思います。これからも崎原の子どもたち、そして奄美の子どもたちのために、もっと楽しく、もっと活動的に、そして、もっと多くの人々とかわれる崎原校を目指していきたいと思っています。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的により状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものです。また、個人のみならず、個人を取り巻く地域や場、社会が持続的により状態であることを含む包括的な概念です。

## ～児童生徒会スローガン～

光

共に笑おう 共に進もう  
個性で彩る31の夢

## 岡田大介さん講演会

10月1日は、保校さつきさんの紹介で絵本作家の岡田大介さんが本校に来て、食の大切さについて講演してくださいました。とてもいい学びになりました。



## 特認校体験入学

10月5日、6日は、本校に特認校体験入学生が14人も来てくれました。写真家の与名さんに来ていただき、サシバの観察会を行ったり、柿本さんに来ていただき、郷土料理作りを行ったりと体験入学者だけでなく、本校の子どもたちも楽しんだ2日間でした。



## 敬老会

10月8日は崎原集落の敬老会が行われました。たくさんの敬老の皆様、地域の方々、学校の子どもたち、保護者の皆さんに参加していただき、とても楽しい有意義な会になりました。御敬老の皆さん。おめでとうございます。



## 生徒会選挙

今年度の生徒会選挙は、2年生の若松伸太郎さんと赤塚健心さんと争われましたが、投票の結果、若松伸太郎さんが生徒会長となりました。その後協議が行われ、副会長を保校志琉さん、保体部長を赤塚健心さん、文化部長を俵穂乃香さんをお願いすることになりました。1年間崎原校のために頑張ってくれることと思います。



## カメラを活用した授業

10月13日は、公益財団法人日本広告写真家協会の方々や奄美で御活躍の写真家浜田太さんに来ていただき、一眼レフのカメラを使って自分の作った作品を撮る授業が行われました。流水やサンゴなどを使った作品が、写真で撮ることで命が吹き込まれるような印象を受けました。作品は、学習発表会で展示しますのでお楽しみに！



## 美術鑑賞授業



10月27日は、武蔵野美術大学の三澤一実教授と武蔵野美大生4名が本校に来てくださり、絵画等の鑑賞の授業を行いました。絵画といっても油絵だけでなく、デジタルを活用した絵画や映像など学生の皆さんの作品を準備していただきました。小学生も中学生も食い入るように作品を見つめ、学生さんたちとどうやって描いたのか、どんな思いが込められた作品なのかを議論しました。作品には作者の思いが込められますが、その作品を見てどう思うかは鑑賞する側にも自由さがあります。鑑賞の授業を続けることで、自分の考えを伝えることができる児童生徒が育つのではと、この授業を行いました。今後、子どもたちにより影響が出ることを期待しています。



## 11月の主な行事

- 1日(水) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間(～7日)
- 2日(木) 「心の教育の日」全校道徳授業(5時間目)
- 5日(日) 奄美群島日本復帰70周年記念学習発表会
- 8日(水) 奄美市小・中学校音楽発表会(奄美川商ホール)
- 9日(木) 中学3年生実力テスト(～10日)
- 11日(土) 読書まつり
- 13日(月) 市教委訪問
- 14日(火) 奄美市中学校弁論大会・英語スピーチ大会
- 15日(水) サシバ講演会(13:40～)
- 19日(日) 【炭づくり】木の切り出し(予定)
- 20日(月) 中学校期末テスト(～22日)
- 22日(水) 小学校社会科見学
- 24日(金) 【炭づくり】炭の木入れ

